

東南アジア史学会会報 № 2

昭和 42 年 3 月 31 日

昭和 42 年度第 1 期研究会予定

本年度春季は、「19世紀における東南アジア社会の変化」をテーマに、次の日程で研究集会を持つこととなりました。

第 1 回	4 月 28 日 (金)	午後 3 時 30 分～5 時 30 分
第 2 回	5 月 12 日 (金)	"
第 3 回	5 月 26 日 (金)	"
第 4 回	6 月 9 日 (金)	"
第 5 回	6 月 23 日 (金)	"

計画の内容などについて、さらに検討を加えるために、4月17日（月）、1時～3時、南方史研究室（又は東洋史研究室）において、最初の集りをもちたいと存じますので、奮って御参加下さい。

夏季研究大会予定

7月7日(金)、8日(土)、9日(日)の3日間、東京都内を会場に、研究大会を持つ計画です。シンポジウムと個別発表が予定されていますが、個別発表を御希望の方は、5月15日までにその旨を係へお申し出で下さい。なお、11月10日頃に秋季大会も予定されています。

昭和 41 年度第 2 期研究会報告

第 6 回 1 月 13 日 生田滋：ポルトガル、オランダ史料を通じてみ

たマラヤ・インドネシア史

第7回 1月27日 岸幸一・森弘之：インドネシアより帰りて

第8回 2月10日 高橋保：カンボジア史研究史

第9回 2月24日 太田常蔵：ビルマ史研究史

委 員 会 報 告

1月9日、及び2月24日に委員会が開かれ、研究会、大会などの本年度総会計画、会報編集、会費納入状況などが検討され、さらに各委員の事務分担が下記のように決定されました。

庶務・会計 森・池端

涉外 白鳥・量

会報編集 市川・白石

入会希望者をおさそい下さい！

東南アジア研究の発表のため、会では皆様の積極的な御参加をお待ちしています。入会は葉書又は電話で、東京大学文学部東洋史（南方史）研究室気付東南アジア史学会へお申し込み下さい。会費は年額千円です。（振替口座東京 59,721）会は正会員の会費を資金として運営されます。まだ52名の会員を数えるだけですので、より多くの方々の入会をおさそい下さるようにおねがい申上げます。

インドネシア現代史の一断面

岸 幸一

昨年 10月から 12月まで 21年ぶりにインドネシアの各地を旅行することができた。私がインドネシアに居たのは 1942年から 1946年までの 4ヶ年で、日本軍政期から独立斗争の第一年度にわたってであった。引揚船で帰国してから今日までインドネシア史研究に没入してきた。顧りみて大した業績がないのであるが、この 21年の推移は私の研究史でもあるが、これは民族国家の形式から今日までの民族史——インドネシア現代史である。

この 21年間にインドネシアの経済政治社会がどんなに変ったは私にとって非常に興味のある課題であった。殊に民族社会が独立後どんなに変容したかは最も関心のある問題であった。ジャカルタを拠点として、中東部ジャワ、バリ島、南スラヴェンのマカッサル市を訪ねた。ジャワでは西部ジャワの農村を訪ねて、22年前に私の東亜研究所の先輩達が調査した村落実態調査について今日どのような変化があらわれたの問題について触ることができた。

また南スラヴェンのマカッサルでは、戦時中私達の調査に協力してくれて、その後オランダの学者シャボット博士、或いはアメリカの人類学者故レイモンド・ケネディ博士のインフォーマントをつとめた、現在南スラヴェンの文化財事務局長のアブトラヒム氏に再会することができた。南スラヴェンの言語と文化に通曉するこの人に案内されて、村々を見学して 20年の間におきた変動のいくつかを見ることができた。

最後に、この 20年の才月に現代史の断面をみるとともに業績の少い私のたゞ老いてゆくことを痛感した。（研究会報告要旨）

東 南 ア ジ ア よ り 帰 り て

森 弘 之

外務省および日本国際問題研究所より「東南アジアの宗教」というテーマにより調査を嘱され、昨年九月末より本年一月半ばまでインドネシアを中心にマレーシア、シンガポール、タイ、カンボジア、南ヴィエトナムと歩いた。

インドネシアではスマトラ北部のアチエとバリ島とで農村の現状を宗教を中心に調べた他、各地の大学・研究機関を訪問して学者・研究者から話を聴いたり資料などを教えられたりして二ヶ月半滞在した。

学術会議（M I P I）はジャカルタにあってインドネシアの学術・教育を司る所だが、多くの Iembaga（委員会）が設けられてはいるものの現在は研究は余り進められていない。国立文書館（Arsip Nasional）には貴重な文書が文字通り山積しているが、専門の研究者は館長のモハマッド・アリ氏ただ一人で、最近ほんの一部ではあるがバリ・ロンボックに関するものとカリマンタンに関するものとがやっと出版されたが大部分は眠ったままになっているのはまことに惜しい。

大学ではジャカルタのインドネシア大学、トリサクティ大学（焼かれたレスブリカ大学のあとに建てられた）、バンダアチエのイスラーム大学、メダンのイスラーム大学、教育大学、デンパサル（バリ）のウダヤナ大学、ジョクジャカルタのガジャマダ大学などを訪れ、歴史学、宗教学、人類学などの学者、研究者、学生などと話しあった。教育設備特に図書の貧しさ、教官の給与の想像を超えた低さは研究・学習状況に決定的なマイナスを与えており、学術雑誌の出版や実地調査などはここ当分の間実現不可能と思われた。それに9月30日事件以後レッドバージを受けた人々も少くないようである。

タイではチュラロンコン大学、シンガポールでは南洋大学、マレーシア

ではマラヤ大学、南ヴィエトナムではサイゴン大学とヴァンハン(仏教)
大学を訪ねた。

(研究会報告要旨)

海外研究情報 市川記

学会

フィリピン・セミナー：1966年12月5—6日Western Michigan Univ.でC. O. Houston(司会) E. Wickberg, D. Wurfel, W. Sibley等が発表。

The Association for Asian Studies 第19回大会：1967年3月20日—22日シカゴで、第20回大会1968年3月22—24日フィラデルフィアで開催。

第27回国際オリエンタリスト会議：1967年8月13—19日ミシガン大学で開催。東南アジア部門の司会 K. J. Pelzer。

国際アジア史学者会議：1968年8月マラヤ大学で開催。会費20マラヤ・ドル。書類提出締切1967年10月1日。

研究機関

メキシコ大(U.N.A.M.)哲文学部に1966年7月アジア学科開設。主任L. G. Knauth, 語学、社会、文化の講義新設。イスパニアのアジア進出問題を中心として。

西独ハンブルクのアジア問題研究所に比較研究部を新設。B. Grossman(部長), W. Bauer, らが西独のアジア近・現代史学現状を調査中。

米カンサス大大学院のフィリピン学講義充実。G. K. Goodman(日本

ではマラヤ大学、南ヴィエトナムではサイゴン大学とヴァンハン(仏教)
大学を訪ねた。

(研究会報告要旨)

海外研究情報 市川記

学会

フィリピン・セミナー：1966年12月5—6日Western Michigan Univ.でC. O. Houston(司会) E. Wickberg, D. Wurfel, W. Sibley等が発表。

The Association for Asian Studies 第19回大会：1967年3月20日—22日シカゴで、第20回大会1968年3月22—24日フィラデルフィアで開催。

第27回国際オリエンタリスト会議：1967年8月13—19日ミシガン大学で開催。東南アジア部門の司会 K. J. Pelzer。

国際アジア史学者会議：1968年8月マラヤ大学で開催。会費20マラヤ・ドル。書類提出締切1967年10月1日。

研究機関

メキシコ大(U.N.A.M.)哲文学部に1966年7月アジア学科開設。主任L. G. Knauth, 語学、社会、文化の講義新設。イスパニアのアジア進出問題を中心として。

西独ハンブルクのアジア問題研究所に比較研究部を新設。B. Grossman(部長), W. Bauer, らが西独のアジア近・現代史学現状を調査中。

米カンサス大大学院のフィリピン学講義充実。G. K. Goodman(日本

軍政), E. Wickberg (華僑史), Charles Worriner (社会史) 等担当。

香港中文大学社会研究センターは東南アジア現在民と華僑との接触, 香港の家族構造等調査中。

Southeast Asia Development Advisory Group (書記G.D. Ness, ミシガン大学) は M. Moreman を主査としタイ社会, メコン流域農村の変貌を調査中。

新季刊誌

Solidarity は東南アジア時事, 文芸, 書評を掲載。発行地マニラ。
2年間購読料 \$ 4.50。

マイクロフィルム

アジア学定期刊行物フィルムの購入希望者は Mr. Samuel Freedman, President, Research Publication, Inc., 254 College St. New Haven, Conn へ。

地図(アジア地域)

購入希望者は Mr. Ward G. Goetz, Rutgers Univ. Bookstore, Box 508, Rutgers, New Brunswick, N. J. へ。東南アジア関係各種地図あり。

研究者

G. W. Skinner (スタンフォード大) は 1966 年 Communism and Chinese Culture in Indonesia: The Political Dynamics of Overseas Chinese Youth (単行本) を脱稿。

Maurice Freedman (ロンドン大) は "Chinese Family Law in Singapore: The Root of Custom" (論文) を J. D. Anderson 編のアジア家族法 (単行本) の一部として出版予定。

Frank Lynch (アテネオ・デ・マニラ) はフィリピン概説シリーズの第 1 , 第 2 卷執筆中。

G. Goodman (カンサス大) は日本軍政史調査のため日本 , アジア地域旅行中。

新刊書

Vandenbosch, A. The Changing Face of Southeast Asia.

Univ. of Kentucky Press : Lexington, Kentucky, 1966. 448 pp. \$. 7.50.

Anderson, Gerald H. Christianity in Southeast Asia : A Bibliographical Guide. Missionary Research Library, N. Y. & Yale Univ. Southeast Asia Series, 1966 \$.3.00.

Coedés, George. The Making of Southeast Asia. Univ. of Calif. Press, 1966, \$ 6.00.

Cady, John F. Thailand, Burma, Laos and Cambodia.

Prentice-Hall, Englewood Cliff, N. J. 1966. \$. 4.95.

Langlois, Walter G. André Malraux : The Indochina Adventure. Fredrick A. Prager, London, 1966. 259 pp. \$ 5.95.

Wyatt, David K. (ed.) The Nan Chronicle, transrated by Prasoet Churatana. 1966, 78 pp. \$. 2.00.

Keyes, Jane Godfrey. A Bibliography of Western Language Publications concerning North Vietnam in the Cornell University Library. 1966.

Data Paper 63, Cornell Univ, 280 pp. (supplement to No. 47).

Weinstein, F. B. Vietnam's Unheld Elections : The Failure to carry out the 1956 Reunification Elections and the

- Effect on Hanoi's Present Outlook. Data Paper 60,
Cornell Univ. 1966. 65 pp. \$ 2.00
- Leigh, Michael B. A guide to Holdings on Borneo in the
Cornell Univ. Library. Data Paper 62, Cornell Univ.
1966. 100 pp. \$ 2.00.
- Ward, A. B. (Ed. by R. M. Pringle and O. C. Doe ring)
Rajah's Servant. Cornell Univ. 1966. 150 pp. \$ 2.50.
- Thung, Yvonne & John M. Echols A Guide to Indonesian
Periodicals, 1945 - 1965 in the Cornell Univ. Library.
Cornell Univ. 1966, 151 pp. \$ 2.00
- Lev, Daniel S. The Transition to Guided Democracy:
Indonesian Politics 1957 - 1959. Cornell Univ. 1966,
298 pp. \$ 3.50.
- Cornell Modern Indonesia Project (ed.) Indonesia vol. 1,
April 1966, 205 pp and vol. 2, Nov. 1966.

東洋文庫近着欧文雑誌から

(1964年4月～1966年12月)

- Arquivos de Macau (Macau) 1-1 ---5; 3-1, 2; 4-1 ---6; 5-1,
3, 4, 5
- Bulletin de l'Ecole Française d'Extreme-Orient (Paris)
52-1, 2
- Bulletin de la Société des Etudes Indochinoises (Saigon)
39-1 ---40-4
- Cornell Univ. Library; Wason Collection Southeast Asia
Accession List (New York) 5-8, 9; 6-1 ---7-7; 7-10 ---11;
8- $\frac{2}{3}$
- East Asian Cultural Studies (Tokyo) 3- $\frac{1}{4}$ - 4- $\frac{1}{4}$
- Eastern Horizon monthly review (Hong Kong) 1-1 ---3-9

- Journal Asiatique (Paris) 250-4 ---253-1
The Journal of Asian Studies (Ann Arbor) 22-5;23-3 ---25-3
Journal of East Asiatic Studies (Manila) 8- $\frac{1}{2}$ ---9- $\frac{2}{3}$
The Journal of History (Manila) 10-4, 11- $\frac{1}{2}$
Journal of Oriental Studies (Hong Kong) 2-2
Journal of Southeast Asian History (Singapore) 4-1, 2,
5-1, 2;7-1
Journal of the Burma Research Society (Rangoon) 46-1
---48-1
Journal of the Malayan Branch Royal Asiatic Society
(Singapore) 37-1, 2
Journal of the National Research Council of Thailand
(Bangkok) 3-3, 4
The Journal of the Siam Society (Bangkok) 52-1 ---54-1
Madjalah Ilmu-ilmu Sastra Indonesia (Djakarta) 1-1, 2;
2-1, 2
Solidarity avec le Vietnam (Hanoi) 1965 (Vol. 7)
Solidarity with Vietnam (Hanoi) 6, 7, 9
Thai Journal of Public Administration (Bangkok) 3-1 ---4;
4-2---6-3
Vietnam (Hanoi) 89, 90, 92, 93
Vietnam Youth (Hanoi) 1965-3